

# [理]学部1年男子の 合格体験記

## 自己紹介

私は、理学部生物学科に所属しています。現おおわん部員の中では最西端の山口県出身です。一般入試で入学しました。高校で生物は履修しておらず、理科は物理と化学で受験しました。

## 東北大を志望した時期とその理由

志望した時期：高校1年生の夏

理由：旧帝国大学をはじめとした自分の気になる大学のオープンキャンパスに行き、大学の雰囲気や立地環境、研究実績などを総合的に判断した結果、東北大学が最も良いという考えに至ったから。

## 受験期の勉強方法

高校の定期試験や模試で間違えた問題を紙にコピーして、ノートに張り、解説をまとめるということを主にしていました。これは全教科に対してやりました。試験の直前に作ったノートを見直すことで最終確認を行うことができるのでオススメです。

また、理科に対しては教科書の内容を自分なりに考えてノートにまとめるという勉強のスタイルを取っていました。その他、高校の授業一つ一つに集中して取り組むという事もしていました。受験には授業で習ったことが出るからです。

私は高校3年生の9月まで定期的に部活動をしていました。周りの受験生に比べて時間がない分、勉強ができるときに集中してやることを常に心がけていました。

## モチベーションの保ち方

東北大学のウェブサイトの研究報告を見たり、東北大のロゴマークに愛着を持ったりして、「東北大に通いたい」という意識を高めることで、勉強のモチベーションを維持していました。また、校友歌である小田和正さん作詞・作曲の「緑の丘」をYouTubeで定期的に聞くこともしていました。その他、同級生が頑張る姿を見て、やる気をもらうこともあり、このこともモチベーションの維持につながっていたと思います。

## 受験直前～当日

私は、二次試験の前々日に仙台に入ったのですが、仙台駅で東北大の応援団に取り囲まれて受験の応援をされたことがとても印象に残っています。試験前日には、下見に行って、当日のシミュレーションをしました。

二次試験当日は、下見をしていたおかげでスムーズに大学まで行くことができました。試験は、1日目は順調でした。2日目の数学は難しく、焦りを感じたときがありましたが、落ち着いて最後まで諦めずに答案を作成しました。試験が終了した後は、疲れ切っていました。とにかく、全力を出し切りました。

## 大学に入学して…

### 【一人暮らし】

私は大学生になってから一人暮らしを始めました。私の住んでいるところはよく強風が吹きます。洗濯したTシャツをハンガーに掛けてベランダに干していたら、隣の工事現場まで飛んでいったことがありました。幸い、誰にも見つかることなく回収することができたのですが、とても驚きました。それ以後は、ハンガーを大きめの洗濯バサミを使って止めるようにして、飛ぶのを防止しています。

### 【部活、サークル】

私は、おおわん以外に、学友会のワンダーフォーゲル部にも所属しています。学年の垣根を越えて仲が良く、アウトホームな雰囲気部の部活です。2週間に1回のペースで仲間達と東北の山々に登ったり、沢登りや海岸歩きをしたりしています。今年の夏には、合宿という名目で沖縄の西表島に行きました。海岸沿いをひたすら歩いたのですが、日差しが強く、地球温暖化が着実に進んでいることを悟りました。一方で、マングローブ林を散策したり、ヒッチハイクをするなど、学生時代にしかできない貴重な体験をすることができました。

## 受験生へのメッセージ

今の努力が未来につながります。後悔のない受験をしてください！

